

読むぞう通信



H 2 6 . 1 2 . 1 2

2学期を振り返って

長い2学期でしたが、終業式まであとわずかとなりました。子どもたちの頭の中は、クリスマス、冬休み、お正月と、楽しいことでいっぱいかもしれませんね。

さて、例年のことながら、2学期は運動会に近県音楽大会、みんなの心の収穫祭と、行事が盛りだくさんでした。そんな中で、友だちと声を掛け合って協力すること、自分の力を精いっぱい出せるように頑張ることなど、大切なことを多く学んだ子どもたち。読書活動においても、日々の読書、読書週間、親子で本の紹介、人権週間に合わせたありがたい本の紹介など、出来る限り読書に親しむ時間を作ってきました。本の好きな青原っ子ですから、読書に親しむことで心に栄養を蓄えたことと思います。2学期も残りわずかではありますが、引き続き精力的に読書活動に励むよう、声かけをしていきたいと思っています。

人権週間に合わせて

12月4日から10日は、人権週間でした。この間、青小守ろう委員会の子どもたちが「ありがとうレター」の取り組みをしてくれて、この間、青小はいつも以上に友だちにありがとうの気持ちや頑張っていることを伝え合うほかほかした温かい雰囲気になっていました。さて、そんな中、図書の方からできることと言えば、やはり本の紹介をすること。図書ボランティアさんが、ありがとうの本を中心に心温まる本をたくさん用意して下さい、各教室に置いて下さいました。友だちからの手紙を通して、またありがとうの本を通して、それぞれに優しさや温かさを感じた期間となりました。



本を読むぞう委員会から読み語りのプレゼント

本を読むぞう委員会では、各学年に読み語りをしに行くという取り組みをしました。それぞれの学年で楽しんでもらえるような本を選んだり上手に読めるように練習したりと、みんなに喜んでもらえるようにと準備もテキパキとしました。



さて、本番では、多少の緊張もありましたが、大きな声ではっきりと読み語りをしていました。途中、「えー！」などと声が聞こえることで、聞いている人が本の世界に入っていることを実感し、うれしくも感じているようでした。とても良い時間になりました。

冬休みの図書の貸し出し

夏休みの時と同様、今回も日原の図書館で本を5冊借りて冬休みを迎えようと思います。大切な本でするので、借りた本を読むこと、大切に保管することをきちんとしてほしいと思います。また、図書カードを持ち帰らせますので、全て読み終えたりもっと本が読みたいと思われたら図書館へ行って本を借りて下さい。休み明けには、図書カードをなくしてしまうことがあります。これも大切に保管して下さい。あと2週間で冬休みに突入します。遊んだり、勉強したり、お手伝いしたり、読書をしたり……。有意義な休みを送ってほしいと思います。

《図書ボラのちょっと一服コーナー》

1ドル87セントから始まる物語

もうすぐ待ちに待ったクリスマスですね。雪さえもプレゼントのように感じるクリスマス。何か素敵な出来事がありそうな気がして、寒がりなわたしも「少しも寒くないわ♪」と若干強くなります。そんなふうに毎年期待して、毎年何事もなく終わってしまいますが（笑）、今年こそは……。

さて、クリスマスにまつわる本を探すと、とってもたくさんあります。どのお話も素敵なのですが、その中から好きな物語をひとつ紹介します。

『賢者の贈り物』 O・ヘンリー

貧しい暮らしをしている夫婦がいました。夫のジムは金の懐中時計が宝物でした。妻のデラは美しく長い髪が宝物でした。クリスマス、デラはジムの懐中時計につけるプラチナの鎖をプレゼントしようと思いつきます。しかし、それを買うだけのお金がありません。そこでデラは自慢の美しい髪を切り、かつら屋に売ってしまいます。一方、ジムもデラにとっておきのプレゼントを贈ろうとしていました。ジムは髪を切ったデラを見て驚き、複雑な表情を浮かべます。なぜなら、彼が用意したプレゼントは……。そして、そのプレゼントを買うお金を用意するために彼が売ったものは……。

皆さんにとりまして、素敵なクリスマスとなりますように。そしてよいお年をお過ごしください。

今月の「おうちで読むぞうタイム」は、12日（金）13日（土）14日（日）です。近頃は一段と寒くなり、部屋の中で過ごす時間が増えてきているのではないのでしょうか。つついテレビを見たりゲームをしたりする時間も増えているかもしれませんね。テレビやゲームに費やす時間の中から家族で読書の時間を決めて、読書をしてみてはいかがでしょうか。